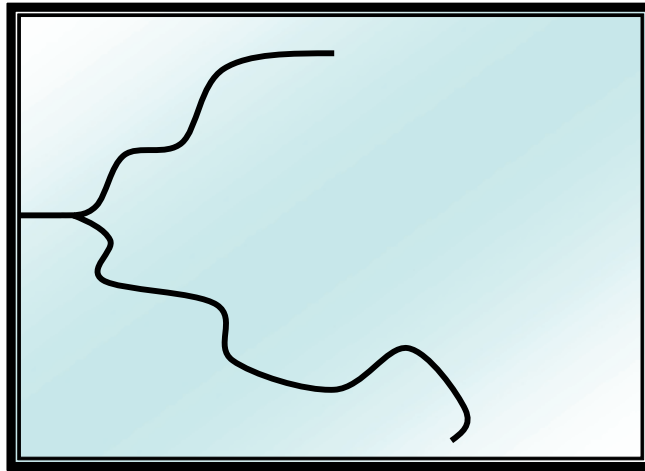


## ガラスの熱割れについて：

### (ガラスの熱割れとは)

窓ガラスに日光の直射を受けると、ガラス中心部の温度が上がり、ガラス周辺部のサッシにのみ込まれた部分や影になっている部分の温度は低温のままとなります。高温となった中心部が熱で膨張し、一方で低温部が硬直した状態となる為、ガラス周辺部に引張応力が発生します。この熱応力は直射が照射されたガラス中心部の温度と照射されていないガラス周辺部の温度差に比例し、ガラスのエッジ強度を越える引張応力が発生すると熱割れを起こします。



割れ始めは直角に発生します。熱割れがどうかを判断する一つの材料として下さい。

### (熱割れが起こりやすい環境)

熱線吸収ガラス等の日射吸収率が高いガラス、網・線入りガラス等のエッジ強度が一般のガラスより低いガラス。

1. サッシが熱容量の大きなコンクリートに直付けの場合。
2. ガラスの至近距離にカーテンやブラインドなどがある場合。
3. 冷房用の吹き出しエアーがガラスに直接当たっている場合。
4. ガラスの面積が大きい場合。
5. ガラスのある一部に影が掛かっている場合。
6. ガラスの切り口のクリアカットが雑な場合。

### (ウィンドウフィルムと熱割れの関係)

ガラスに熱吸収率の高い日照調整フィルムを施工すると、結果として日射吸収率が高まり、熱割れが発生する可能性が高くなります。